

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくし療育ホーム					公表日	R8年2月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	・整理整頓を心がけ、可能な限りスペースを確保できるようにしています。			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	・法令で必要とされる配置数を確保しています。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	・バリアフリーになっていない場所（階段）は、安全に移動ができるように職員が介助をして対応しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	・毎日清掃・消毒を行い、清潔な環境を整えられるように心がけています。			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・必要に応じて、個別の部屋を使用することができます。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	・職員間で定期的に話し合い、業務の振り返りを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・評価表の内容をもとに、業務改善に努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・定期的な会議を行うことや、事業所向け自己評価をもとに話し合うことで、業務改善に努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		・今後必要に応じて、実施を検討してまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・外部の研修への参加や、職場内で研修を実施しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	・ホームページにて公表しています。			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	・保護者から聞き取りを十分に行い、一人一人に合わせた児童発達支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・児童発達支援計画を作成する際には会議を行い、共通理解のもとで支援方法を検討しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		・子どもの適応行動を的確に評価する為に、どのアセスメントツールが適当か検討してまいります。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・保護者の要望を参考に、適切な目標の設定と、支援の実施に努めています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・チームで検討し、活動プログラムを立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	・子どもの発達に合わせて、無理なく参加できるような活動を取り入れるようにしています。			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	・集団活動と個別活動を組み合わせて、一人一人の発達に合わせた児童発達支援計画を作成しています。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・支援開始前に、支援方法や役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	・支援終了後に支援の振り返り、反省を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	・個別記録表にその日の様子を記録し、随時振り返りができるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・半年に1度モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・子どもの状況をよく理解した職員が参画するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	・必要に応じて関係機関と連携がとれるようにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	・併行利用している施設と情報交換を行ったり、移行の際には申し送り書を作成することで、情報の共有に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			・定期的に専門職による訪問支援を受けています（医師・理学療法士や県立あすなろの郷等）。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	3	0	・市内の保育所との交流保育を実施しています。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・保護者同伴の為、その場で子どもの成長や課題を保護者と共有し、共通理解のもと対応しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・土浦市こども包括支援課の協力のもと、ペアレント・トレーニング講習会を実施しています。	
保護者へ	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・見学時と契約時に、保護者と確認しながら丁寧に説明するように心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・児童発達支援計画を作成する前に面談を行い、子どもや家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・保護者同伴の為、相談があった時にはその都度助言、面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいが参加できるイベントを実施することで、交流する機会を設けました。	3	0	・保護者同伴の為、交流の機会を普段からもてるよう工夫しています。 ・きょうだいが参加できるイベントを実施することで、交流する機会を設けました。	

の説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	・毎月、予定表を作成し活動内容や行事等の予定をお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・守秘義務を順守しています。 ・児童に関する情報は、個別にファイルを作成して、鍵のかかる場所に保管しています。 ・関係機関への情報提供は、保護者に書面にて承諾を得て行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	・特性に応じて、絵カード等の情報伝達ツールを活用しながら支援を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		・感染症予防等の観点から、現在地域住民の方との交流は控えております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・それぞれマニュアルを策定し、訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・地震や火災等を想定した避難訓練を、毎月実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	・契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握し、職員間で共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	・契約時に食物アレルギーの有無を保護者へ確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・遊具の安全点検を毎月実施しています。 ・年に1回心肺蘇生法の研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・事業所内で研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	・身体拘束適正化指針に基づき対応しています。	